



# 学校だより 6月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和8年5月29日

横浜市立神奈川小学校

## 「知らなかったよ こんなにきれいだったなんて すぐそばにいて 知らなかったよ」

校長 足立 渉

お気づきの方も多いと思うのですが、この学校だよりの巻頭言は、校内に咲くその時々草花の話から書き始めています。なので、5月号では藤の花を令和6年、7年、8年と3年連続で取り上げました。では、今月号は何なのか？昨年度、一昨年度と「アジサイ」を題材にしました。今回はどの植物にしよう？と、常に考えています。そんなとき、校庭近くに「どくだみ」の花がたくさん咲いていました。その花を見ていると、遠い昔のことを思い出しました。それは私がまだ初任校で6年担任しているときのことで、修学旅行で行った星野富弘美術館で絵葉書セットを買いました。そのセットの中に、どくだみの絵と共にこんな言葉が書かれていました。



### 「知らなかったよ こんなにきれいだったなんて すぐそばにいて 知らなかったよ」

その頃の私は、ドクダミ＝・暗くてじめじめしているところに群生している・変なおいがする・名前が怖い等の理由で、あまり好きな花ではありませんでした。というか、花という認識もなかったように思います。6月の花と言えばアジサイ！バラ！といったメジャーな花を思い浮かべる程度でした。しかし、その絵ハガキに書かれた絵と文にしばし言葉を失いました。よく見ると、どくだみの花は凜とした真っ白い十字架のような形の美しさがあります。（花びらのように見える白い部分は葉だそうです。）そして中心にある黄色の部分（ここが花だそうです。）とのコントラストは、何とも言えない可憐な感じがします。まさに富弘さんの「知らなかったよ こんなにきれいだったなんて すぐそばにいて 知らなかったよ」といった感じてした。それ以降、学校内で、通勤経路で、子どもと遊びに行った公園等で等々、様々な草花を注意して観察するようになりました。中には雑草と言われる草花もありますが、よく見ると美しく可憐な花を咲かせているものばかりです。（最近は、グーグルレンズ等を使うとあっという間に名前や特徴が分かるので便利な時代になりました。）かなっ子も、まちに咲く花を通して季節を感じられる豊かな心を育てるといいなと思っています。

さて、長々と前段を書いてきましたが、どくだみの花の話は、他者とのかわりにも当てはめることができます。普段「苦手だな」と思っていた人でも、よく知ると「こんなに素敵なお花があったんだ！」という発見！驚き！があるかもしれません。そういった機会が学校で増えていくように、学びと行事を計画し創っています。先日6年生といった日光修学旅行や5年生の三浦体験学習などは、そうした新しい友達のよい一面をたくさん見つける場となったのではないのでしょうか。これからも私たち「チームかな小」は、「すぐそばにいて 知らなかったよ」という他者のよさに気付ける子どもを育てていきます。これが本校教育目標の「なかよく」＝「相手を大切にする！」につながり、ひいては「わたしたちかなっ子」の「所属感、安心感」につながると信じています。今月も本校の教育活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。（この文を書きながら、古い歌ですが、JAYWALKの「何も言えなくて…夏」を思い出しました。）